

2023（令和5）年度活動報告

2023（令和5）年度は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5月8日から季節性インフルエンザなどと同じ「5類」に移行され、多くの制限が緩和されました。マスク着用、換気の徹底など感染予防を徹底した上で、コロナ禍により3年間中止した五常夏祭りを再開するなど、ほぼ計画どおりに活動することができました。

主な活動内容は下記のとおりです。

活動方針

- 1 五常の四季を楽しみ、安心安全なまちづくり
- 2 地域の環境問題及び交通問題への対応
- 3 地域力向上のための人材育成

主な活動内容

1 安全部門の充実（自主防災会、防犯協議会、交通対策協議会、五常っ子見守り隊）

自治会や地域の皆様の協力をいただき、地域の安心安全を向上させる取り組みを行いました。

（1）自主防災会

自主防災会は地域の防災・減災能力の向上を目指して防災会議（防災研修会）を年4回（6月、9月、11月、2月）開催し、地震防災に関する啓発ビデオによる研修、枚方市防災マップの読み方、避難所で使用する簡易ベッドやパーティションの組立体験などを実施しました。11月には防災施設体験研修として、堺市総合防災センターを訪問し、地震体験や煙中の避難などを体験しました。



炎に向けて消火器を使った訓練は少し緊張します



心臓マッサージの押し具合を体感

また、コミュニティ協議会と共催の防災フェスティバル（総合防災訓練）を令和6年3月3日に開催しました。参加者は、水消火器を使った初期消火訓練、毛布とステンレス製のポールを使った応急担架の作り方と使い方、心臓マッサージやAEDを使う救命救急について学び、地域の防災力の向上を進めることができました。



枚方市消防団川越分団の放水デモンストレーション



AEDと心臓マッサージによる救命訓練

（2）防犯協議会

防犯協議会は理事会を6回開催し、重要な防犯情報を地域に提供するとともに、7月には防犯委員全体の研修会を実施したほか、夏季及び歳末防犯パトロール、LED防犯灯の更新、交番だより・ポスター等の掲示を行い、校区の防犯運動を推進しました。



寒さに負けずに歳末防犯パトロール

（3）交通対策協議会

交通対策協議会は5月（通常は4月ですが、統一選挙が実施される年は5月）と9月の全国交通安全運動をはじめ、大阪府として7月には夏の交通事故防止運動月間、12月には年末の交通事故防止月間などにおいて通学路要点立番指導や迷惑駐車追放、安全施設の修理・新設要望などを通じて地域の交通安全を強化するとともに、交通安全意識の向上に努めました。

(4) 五常っ子見守り隊

五常っ子見守り隊は6地点(10カ所)において下校時の児童を見守り、地域の防犯力の向上に貢献し、「地域で五常っ子を守る」地域風土の形成に努めました。



「おかえり、さよなら」の声かけで見守ります

2 あいさつ運動の推進

人と人との繋がり(絆)が安全・安心な地域づくりの基本です。五常校区では地域住民が声をかけ合うキッカケづくりのため、平成21年度から「元気にあいさつ運動」を実施していますが、今年度も引き続き、地域の絆を強めるため「元気にあいさつ」等の啓発活動を推進しました。

3 自治会長及び専門組織責任者合同会議によるコミュニティ活動の強化

地域活動の中核となる自治会や地域の福祉、防犯など安全安心を担う専門組織がお互いの活動状況や課題を共有し、五常校区を住みよいまちとするため5月に研修会を実施し、コミュニティ協議会の活動等の理解を深めました。

また、合同会議を4回(7月、9月、11月、2月)開催し、コミュニティ活動を強化するとともに、行政やコミュニティ連絡協議会の情報等を提供しました。

4 自治会、専門組織との連携の強化

自治会協議の場は設定できませんでしたが、9月の合同会議において各自治会から自治活動の課題や特徴的な取り組みなどについて意見交換しました。

また、PTAとの協議を5月20日に実施し、お互いの活動内容について理解を深め、五常夏祭り、五常文化祭(コミュニティ主催)や、とんど祭りに実行委員として参加していただくなどの協力を得ることができました。

5 四季イベント等の継続と充実

五常の四季を楽しむ行事は、五常校区の住民相互の連帯感や地域への愛着を高めるため、自治会、地域の協力を得て実施することとしています。



第 14 回煙突山さくらまつりを 4 月 1 日に、枚方市の戦争遺跡見学会と同時開催し、300 名を超える参加がありました。



煙突山の由来となった戦争遺跡の説明会



煙突山からの眺望、満開の桜

五常夏祭りを 7 月 22 日に 4 年ぶりに実施しました。五常小学校体育館をメイン開場に、各自治会から選出していただいた実行委員、地域や専門組織からのボランティアなど約 140 名の皆様の奮闘により、手作りの祭りが復活しました。

模擬店は調理をともなわないお菓子系や遊び系でしたが、新型コロナの関係で今回初めてキッチンカーを運動場に 6 台導入して、実行委員さんの負担等を軽減し、軽食や飲み物も楽しんでいただきました。体育館では「この街が好き」にあわせた盆踊りや、お楽しみ大抽選会に歓声があがっていました。



夏祭りの定番ヨーヨー釣りも人気



模擬店の代わりにはじめて配置したキッチンカー

第 15 回五常文化祭を 10 月 29 日に、五常小学校体育館などを会場にして開催しました。体育館では午前中は PTA の協力により児童のパフォーマンスを楽しむ「五常っ子ステージ」を、午後は第四中学校及び大阪府立香里丘高校の吹奏楽部による演奏会を開催しました。体育館 2 階会議室では地域の皆様の作品展を開催しました



住民の皆さんの作品を鑑賞



吹奏楽の迫力ある演奏を楽しみました

第34回とんど祭り(1月14日)では、4年ぶりに豚汁の振る舞いを行いました。とんど櫓の竹は香里園桜木町の竹林から、稲わらは交野おりひめ大学から提供していただきました。自治会からの実行委員やボランティア43名のご協力により、とんど櫓の設置や豚汁の振る舞いを行い、新春の伝統的な行事を楽しんでいただくことができました。



燃え上がるとんど櫓



温かい豚汁は大人気

2022年度に開成校区コミュニティ協議会の呼びかけにより「新型コロナに負けるな」と実施した四中花火フェスタ(開成、山之上、五常の3校区コミュニティ協議会、四中地域教育協議会、四中PTAの共催)を2023年度も9月23日に開催しました。



四中の校舎をバックに花火フェスタ開始

6 広報活動の充実

コミュニティ協議会の活動状況や校区内外の状況などの情報を提供するため、広報紙「五常」を4回（第69号6月・第70号9月・第71号12月・第72号3月）各3,400部を作成し、自治会等の協力を得て校区全戸に配布しました。広報紙ではコミュニティ協議会の活動状況や校区内の状況などを紹介するとともに住民生活に役立つ情報を提供しました。

ホームページでも、各種イベントの告知をアップするとともに、四季を楽しむ行事の様子をはじめ、当協議会の活動状況などをタイムリーに発信しました。



五常校区コミュニティ協議会のホームページ

7 地域および周辺地区の環境問題・交通問題などへの対応

校区内の交通量増大に伴う騒音や交通問題については、環境への配慮や安全確保を確実に実施するよう行政関係機関に要請するなど、自治会等と協力して対応しました。

東中振1丁目の宅地開発地域の住宅分譲開始にともない、入居住民による自治会の結成を支援するよう事業主に要請するとともに、五常校区コミュニティ協議会活動や、自治会との関係性について説明し、今後の協力を要請しました。

8 人材育成の取組み

地域づくりや地域防災など、コミュニティ活動を担える「地域リーダー」の育成を目指して、12月の枚方市地域防災専門研修会に1名が参加しました。